



IZUMI NEWS

学校法人 和泉短期大学

創立60周年記念号

2016年8月

vol. 30



2016年度 聖句

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい」

(マタイによる福音書第7章12節)



CONTENTS

法人創立60周年特集	2～10
和泉の学生生活	11
卒業生の活躍	13
2015年度決算書・2016年度予算書 概要	14～15

創立60周年を迎えて



学校法人和泉短期大学学長 佐藤 守男

「学校法人和泉短期大学」が創立60周年を無事に迎えることができましたことを、感謝申し上げます。

本学は「米国財団 Christian Children's Fund」のクラーク博士、ミルス博士、そして、ララ物資配給責任者バット博士たちが中心となりまして、世田谷に保育士の現任訓練機関「バット博士記念養成所」を設立したことから始まります。そしてこの養成所が「玉川保育専門学校」となり、「和泉短期大学」へと発展し、今年で創立60周年を迎えることができました。

この「米国財団CCF」は、世界にたくさんさんの児童の施設を作りました。しかし、学校をつくりましたのは、日本の「和泉短期大学」だけでありまして、ここに和泉の使命があります。ところで、我々日本人はこの時代をどのように捉えているのでしょうか。『不安で子どもも

育てられない。また、心配で年もとれない。そのように思っている方も多いのではないだろうか。この不透明な時代において、和泉は、この「児童」と「高齢者」の課題に、真っ向から挑んでいる大学であるとも言えます。

現在、日本の教育界は大きな転換期にあり、数々の厳しい現実もあります。しかし、その現実を真摯に受け止め、本学が「地元密着型」「実力養成型」の短期大学として地域に貢献できるよう、私たち教職員は、一層の教育の充実、に努めて参りたいと思います。

これからも、皆様方の変わらぬご指導とご鞭撻のほどを心よりお願い申し上げます。



式辞

学校法人和泉短期大学理事長 深町 正信



本日は和泉短期大学創立60周年を覚えて、ここに記念式典を催すこととなり、ご案内申し上げますが、ご多用な中を、このように多数御参列くださいましたことを、まず学校法人を代表して、心から感謝を申し上げます。

『学校法人クラーク学園の創立30年誌』と『創立50周年誌』によれば、和泉短期大学は、米国のキリスト教会に連なる多くの人々の信仰と祈りと献金により、特に、米国のミルス博士とクラーク博士の働きにより、また、カナダのバット博士の国境を越えた愛の働きにより、1956年(昭和31年)戦後の日本の被災孤児や生活困窮家庭の児童の救済のための福祉施設に働く訓練機関として、『バット博士記念養成所』として発足いたしました。その翌年には『バット博士記念センター』と社会福祉法人『バット博士記念ホーム』とが開設されました。

1960年、昭和35年には、『玉川保育専門学校』が創設されました。そして、1965年、昭和40年には、東京の世田谷区

中町に新たに「和泉短期大学」を創設しました。その場所は、現在の日本体育大学の校地の一部となつて居ります。

その後、和泉短期大学は順調に保育者の養成機関としての歩みをなしてきましたが、1976年、昭和51年、現在のこの相模原市中央区青葉の地に、より広い校地を求めて移り、この新しいキャンパスを建設することになりました。

その後、1985年、昭和60年、時代の要請にこたえて、いち早く、『和泉老人福祉専門学校』をこの地に開設しまして、介護福祉士の養成にあたってきました。しかし、2009年、平成22年、和泉福祉専門学校を新たに和泉短期大学の専攻科として改組転換することとしました。この専門学校卒業生は2,800名であり、その多くの方々は今も、指導者、責任者として働き働かされています。

現在までに、この和泉短期大学の卒業生の数は18,500人ですが、その多くは地元元の保育園、幼稚園、認定保育園、各種の福祉施設で働き保育者、介護福祉士として活躍されています。これは私たち関係者の大きな喜びであり、誇りであります。

和泉短期大学の教育の根底には建学の精神であるキリスト教信仰に基づく教育と、スクール・モットーである「愛と奉仕」による人間の育成という理念があり、そのカリキュラムは保育者、

学校法人 和泉短期大学 創立60周年記念式典

2016年5月14日(土)に本学の和泉クラーク・ホールにおいて学校法人和泉短期大学創立60周年記念式典・祝賀会を開催しました。

式典には80名の来賓にご参集いただき、キリスト教礼拝形式で行い、相模原市中央区長小山秋彦様、桜美林大学学長三谷高康様、青山学院大学副学長田中正郎様より来賓祝辞を賜りました。

祈祷

学校法人和泉短期大学チャプレン 西田恵二郎



父なる神、あなたが備えてくださったこのとき、また場を感謝いたします。そして共に、和泉短期大学の60周年の祝いを持つて、この日を至るまで、あなたの護りと導きのもと、常に支えてくださったことを心より感謝いたします。

同時に、あなたが与えてくださった先達に想いを馳せることでもあります。この方々の、骨身を惜しまず労してください。その労があったからこそ、今日の和泉があるとも言えます。この方々に感謝の意を表すとともに、この節目の時、私たちの思いを新たにし、あなたが愛する者、人々を愛し、人々に仕えますように。そして隣人を愛し、他者に価値を見いだすもの、自らの衣を脱いで隣人に着せても構わないと願えるような私たちとなることを祈ります。そして、私たちが通して、ここから送り出される学生のひとり一人が、我々の背中を見ながら学び、経験を積み、同じように人々に仕える者となっていく



ことができずように。どうぞこれまでと同様、これからの教育の業をあなたが祝福をしてください。変えることのできるものと、変えることのできないもの、また、変えてはならないことと、変えるべきことの識別が難しい時代になってまいりました。であるからこそ、一層私たちが、あなたから識別する知恵をいただき、また、変えるべきことを変えていく、力も備えてくださいますことをお願いいたします。常に前に進み行く学び舎となると同時に、あなたの成してくださった業、またここを立ち上げてくださった方々のことを顧みる想いをお与えください。この祝いの時を、どうぞあなたが祝福を持って臨んでください。全ての関係者の皆さまの内に祝福があるように。また、この日この時、それぞれの現場において労している方々をも、あなたが顧みてくださいますことをお願いいたします。

を大事に考えてまいりたいと思っております。

結びに、歴代の理事長、学長、理事、評議員、監事として、学校法人和泉短期大学のためにご指導くださいました方々のご労苦に心からの敬意を表します。本日、和泉短期大学の法人創立60周年記念式典にご多忙の中を御参列くださいました皆様、特に、大学関係者の先生方、高等学校の先生方におかれましては、どうかこれからも、これまで以上に、和泉短期大学をご指導、ご鞭撻くださり、この和泉短期大学がこの相模原の地で、

祝辞

相模原市中央区区長 小山 秋彦氏



ただ今、ご紹介に預かりました、中央区長の小山と申します。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

本日は、和泉短期大学、創立60周年記念式典が、関係者の皆さまのご尽力により盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。また、大学の関係者の皆さまにおかれましては、日頃から相模原市、そして私も中央区におきまして、様々な事業につい

てご協力を頂いていること、心より感謝を申し上げます。さて、和泉短期大学が1976年に、相模原市に移転をされて以降、大学と本市は、子育てや福祉など、様々な分野で協力関係を築いて参りました。その間、相模原市中核市、また政令市へとステップアップして参りました。そして現在、広域交流拠点都市として発展をすることができたわけでございます。そして、平成26年11月には、包括連携協定の締結をしていただき、引き続き連携を深めながら、安全、安心の町づくりを進めているところでございます。皆さんご存知の通り、日本社会は現在、高齢社会、また人口減少社会へと進んでございま

す。その中で、地域コミュニティの姿、在り方が昔と大きく変わってきております。

そして、その中で、人間関係の希薄化が最近、とくにクロースアップされており、課題となつているところであります。とくに、相模原市におきまして、子育て家族の孤立化、これが大きな課題と捉えられているところがございます。

その中で、大学におかれましては、地域の子育て家族と学生の交流の場である子育てひろば「はっぴい」を開催するなど、大学独自の、地域に根ざした子育て支援プログラムを展開していただいているところでございます。

このことにつきましては、大変心強く思っておりますし、大変期待を申し上げます。また、「はっぴい」がますます盛んになっていただければと、考えているところでございます。

私たち中央区役所でも、中央区の魅力や特性を生かした町づくりの一層の推進を図るとともに、中央区の区ヴィジョン、人と地域が繋がる、地域資源と人が繋がる、この「繋がる」というのをキーワードに、区民との共同による町づくりを進めているところでございます。

今後につきましても、職員が一丸となって、区民の皆さまが「住んでよかったなあ」ともっと住み続けたいなあ」と、そういうような町づくりに、一丸となって取り組んで参りますので、大学におかれましては、引き続きのご支援、ご協力を賜ります。

たいという事で今回、お願いをさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。最後にありますが、今後とも教職員の皆さまの一層のご研鑽とご尽力により、これまでに築かれました輝かしい伝統と実績をもとに、優れた教育や特色ある研究の展開に引き続きご尽力をされ、この和泉短期大学が益々、発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は大変、おめでとうございました。



祝辞



ご紹介いただきました、桜美林大学の三谷でございます。和泉短期大学、創立60周年、心からお祝いを申し上げますと同時に、この素晴らしい記念式典にお招きをいただきまして、大変光栄に思い、心から感謝を申し上げます。

和泉短期大学の今までの歩みは、先ほどの深町先生のお話のように、60年前バット博士記念養成所から始まったと、お聞きいたしました。まさに、幼い子どもへのケアのパイオニアとして発足をし、キリスト教信仰に立った福祉と教育事業を60年間に渡って展開されてこられました。

今こそ、福祉という言葉は、例えば福祉社会、あるいは福祉国家、さらわけて重要な営みとして理解をされていますが、しかし、60年前は、まだまだそうではなかったと理解をしております。

そうした中で堅実に、しかも誠実に歩み続けてこられたことは、私どもにとつては本当に、ここから尊敬をし、その歩みは私どもにとつて、実に真似るべきロールモデルとして、感謝

桜美林大学学長 三谷 高康 先生

を常にしております。

と申しますのは、桜美林大学も、健康福祉学部の中に保育専修という小さなコースがありまされど、大先輩の皆さま方が築かれた道を、しかもそれは、整地された道を私どもは後を追いかけるように、今歩んでいるところであります。

実は、私は幼稚園の園長を経験したことがあります。桜美林大学へ赴任する前、大阪で幼稚園の運営に携わっております。

大阪に来る前は、実は四国の松山のキリスト教主義の学園で教鞭を取っております。松山を去るときに、「大阪に行つて、幼稚園の園長をすることになつた。きわめて不安だから、なにかアドバイスを欲しい」と、当時の付属の幼稚園の園長先生にお尋ねをしたことがあります。

「先生、何か良いアドバイスはございませんか。すると、意外な答えが返ってきました。「あなたは、幼児教育については素人ですから、難しいことは申しません。簡単に言います。ふたつの言葉だけ覚えておいてください。ひとつは「すみません」、もうひとつは「ありがとうございます」。外に向けては「すみません」、内に向けては「ありがとうございます」。この言葉を覚えておけば、あなたでも幼稚園の園長ができます」

私はこのアドバイスを受けてからは、それを守りつつ、何かあると飛んでいって外に向かいます。

そして、今後ますますこの大学が発展し、多くの卒業生がそういうところで働かれ、私たちの大学は、その皆さまの育てた子どもたちを引き受け、世界に羽ばたかせてあげたいと思っております、ということをご披露し、お祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

祝辞



青山学院大学副学長 田中 正郎 先生

ただ今、ご紹介いただきました、青山学院大学副学長の田中 正郎先生。本日は、和泉短期大学創立60周年の式典にお招きいただきまして、感謝申し上げます。

実はこの大学、60年前、戦後の混乱した時期、いつも混乱した時期というのは弱者が虐げられ、貶められ、困窮の中にある中で、とくに弱い子どもを育て、守る、それを支える人材を養成する学校として創られた、とても意義のある学校だと思っております。またとても尊敬しております。

実は青山学院大学も150周年を迎える中で、大学執行部の者として2018年度に向けてまして、施設の子どもたちに大学で学ぶチャンスを与える特別入試のようなものを検討しているところでございます。

現在、全国に664カ所ございます。やはり、施設で育てる中で、経済的にも困窮している中、なかなか学業に打ち込めない者もたくさんおられると思っております。

ただその中で、大学で学び、自分の将来を自分で作り、世の



創立60周年、本当におめでとうございます。これで私の祝辞といたします。ありがとうございます。

中のために尽くしたいという子どもたちも多数おられることは知っております。学校といたしましては、そういう人たちのための特別入試をして、実はいろんなところで伺っております。大学で学ぶことになった子どもが非常に希望をもち、その希望と一緒にここで暮らしている幼い人たちに對して希望になっている、ということを知っております。

そういう意味で、この短大の卒業生の皆さまは、そういうところで働かれております。

私たちは、その働かれていますところで育つた子どもも、今度は大学生と思うんですけども、それを引き受け、その人たちが世の中に送り出したいという取り組みをしたいと考えておるところでございます。

そのようなことで、60周年を祝うこの先に、そういう子どもたち、学生が育ち、またそれがいい循環で世の中の仕組み、在り方に貢献していただければ、と期待しているところでございます。

そういう意味で、和泉短期大学と青山学院大学は、育てていく人材は違うかもしれませんが、思うところ、目指すところは一致しているものというふう

に思っております。思いはひとつ、と思っております。お祝いの席でこのよう



学校法人 和泉短期大学 創立60周年記念祝賀会



祝賀会は学生食堂において、和やかな雰囲気で行われました。横浜女子短期大学学長平野健次先生、和泉短期大学同窓会遠藤陽子会長より祝辞を賜りましたあと、学生聖歌隊と教職員等による和泉短期大学校歌斉唱、最後に職員応援団によるエールを行って閉会になりました。

学校法人 和泉短期大学 創立 60 周年講演会

2016年5月16日(月)10時40分より、和泉クラーク・ホールにおいて、学校法人和泉短期大学創立60周年記念講演会を開催しました。

今回は、神奈川県立保健福祉大学名誉学長の阿部志郎先生をお招きして「出会い」と題した講演を2年生、教職員、本学関係者を対象に行っていただきました。

阿部先生は、本学の設立当初のバット博士記念養成所現任訓練講習会時の講師をしてくださり、本学とは大変深いつながりのある先生です。

学生にとっては、今後の現場実習、就職、そして保育・福祉専門職に就いた後も大きな糧となる講演に、大きな拍手が鳴りやみませんでした。



演題 「出会い」

阿部 志郎 先生

私は、この同じ神奈川県横須賀という街に住んでいます。横須賀に「見守り隊」というボランティア活動があります。登下校する小学生を街角に立って見守るんです。立ってればいいので私にもできるんです。今はしませんけれども、その見守り隊のボランティアをしました。

朝と午後、学校から帰ってくる。5年生の4人の子どもたちが学校から帰ってきました。「お帰り」と声を掛けると、ひとりの男の子がツツカと私に近づいてきました。そして「おじさんー、いい子でしょ、おじいさんって言わないの。」

「おじさんの髪、なんで白いの?」そう言いました。周りにおじいさんがいないんでしょうね。「おじさんはね、キミと同じで子どもとき、毎日学校にいて勉強してよく遊んだよ。大人になってから人のために働いたんだよ。これはねそのご褒美をもらったの。でも、頭に毛のねおじさんもいるだろう?あれはね、小さいときから知恵をたくさん溜めたから、頭がピカッと光るんだよ。」「ふーん。」「今度の土曜日の朝9時半、その公園をみんな掃除するんだけど、キミも来ない?。」「ふーん。」その子、さようならも言わずに帰っ

て行きました。土曜日の朝9時半、この子が公園に来たんです。一緒に並んでゴミ拾いをしました。私の街では毎朝、6時半からラジオ体操をするんです。私はほぼ皆勤今朝は早いからいけませんでしたが、夏休みだけ子どもたちがきます。130人くらい来て、一緒に体操するんです。その男の子もきました。一緒にラジオ体操をしました。

今、この子は高校生になって、私より背も高いんです。でも、子どもと年寄りの出会い、嬉しいですね。出会いというのは、あまり起こらないんです。なぜ出会いがないのでしょうか。お城があるでしょ、お城というのは高いところに立ってて、天守閣があって、熊本城が崩れて大問題になってますよね。街のシンボルです、お城。あの天守閣をもったきれいなお城に殿様がいました。そしてその周りに武家屋敷。家来が住んで、その周りに人々が住みました。

そして、城下町というのは、今度行ったら見てください、お寺が多いんです。方々からお寺を集めてる。お寺というのは、敵が攻められないんです。防波堤になるんです。そして、城下町の特徴というのは、直線道路がないんです。みんな曲がりくねって、迷うようにできているんです。そして敵が来るとみな戦って、最後に殿様だけ守ればいいんです。殿様を守るためのお城でした。周りにはお堀があります。

ヨーロッパのお城というのは、ロンドンもパリもお城だったんです。人々を守るために、城壁を作りまし葉が出てきたんです。ひとり：いと小さき者のひとり。戦後の日本社会は混乱を極めていました。食べるものもない、着る着物もなかった。「この社会を変えなければ人間の幸福はない」。宮沢賢治はそう言いました。「世界が幸福にならないければ人間は幸福ではない」と言ったんです。私もそう思っていました。社会を変えよう、社会を変革しなければ、私たちの幸せはこないと思ひ込んでいたんです。

でも、その看護師さんが私に示したのは、そうではない。この世から蔑まれた、いと小さいひとりが幸せになることなくして社会の幸福はない。そう思うようになりました。そして、それが私の福祉の哲学になりました。そこにいた時間、15秒か20秒でしょう。か。一言も口をきいていないんです。患者さんの名前も看護師さんの名前さえ知らないです。でも、15秒後に私は黙って黙礼をして部屋を出ました。

部屋を出るときに、私の心は一変していたんです。この看護師さんの後を付いて行こう、そう心に決めただんです。誰だか知らないんです。でも、その15秒か20秒で私は変わったんです。実業に出るのを止めて、福祉の世界を志した。それが動機でした。

こういうことは起こりうるのです。今皆さんはこの短大で勉強して、1時限、2時限の授業、また明日3時限4時限と授業の繰り返しでしょ。時間は淡々と流れて行くんです。昨日から今日、今日から明日。これをクロノスと言いまして、時間が流れるんです。その流れて行く毎日の時間の中に、

た。殿様ではない、人々、民衆を守るためにお城を造ったんです。大きな違いでしょ? 私たちの国は不幸にして、長いこと戦争をしてました。私も軍人でした。そうすると、毎日敵を殺す訓練をするんです。

戦争の終わるころ、国民に標語が出ました。「億玉砕」「国体護持」。どういう意味かと申しますと、日本の一億の人、全部アメリカと戦って死んでもいい、戦いなさい。でも国体は残そう。国体というのは天皇制。天皇陛下だけ残れば、みんな死んでいい。上と下、これが大事でした。上官の命令には、兵隊は絶対服従。戦死するときには「天皇陛下万歳」と言って死になさいと教えられたんです。でも、天皇陛下万歳と言って死んだ人はほとんどいないですよ。みんな、なんと行って死んだかという、「お母さん」と叫んで死んだんです。

でも、上と下という人間関係が大事にされて、横の関係は疎かにされました。

国家というのは本来、私たち国民を守るためにあるんです。なのに戦争前は、人間が国家のためにありました。逆でした。でも私たちの幸せを増すために国がある。それが戦後の平和の、人の、社会だと思えます。隣という字がありますね。隣という字は、村と村の境目を言うんです。村境、地理的概念です。人がいないんです、隣という字には。英語で「ネイバー」って言うでしょ。ネイバーというのは「近い農民」という意味で、人を指すんです。ネイバーというのは地理ではない、人。

聖書が日本に来て：よきサマリヤ人の例え話は知ってますよね。「良き隣人」となりびとであれ」と。隣といあるとき突然、人間を超えた力が時間に入して、決断を迫るときがあるんです。これをカイロスと言います。何か自分に迫ってくるんです。自分を超えたものが。カイロスという、人間を超えたエネルギーが自分の中に働くという。これから皆さんきつと経験すると思えます。恋愛ってそうじゃないですか?たたくさんという男女の中で、たたくひとりとひとりが愛し合ってますよ。自分を超えた何かが働いて人と人が結びつくということがあるんですね。私はそういう経験をしました。特に、若いときにそういう経験をするとするのは非常に大事なことです。皆さんもそういう経験をなさるかもしれません。

アメリカにクラークという先生がおられました。この方は、世界の恵まれない孤児、なんとか援護しようとしたんです。このクラークという先生は一生の間に56カ国の子どもたちの援護をしたんです。中国の子どもたちを援護していました。でも、中国に政変が起こって、中国にいられなくなり、日本はどうかと考えたんですね。そのクラーク先生と一緒に、ミルスという先生が働いていた人がたくさんいました。その中に、真鍋という牧師さんがいました。そして、中島という先生もいました。その中島先生が和泉短期大学の初代の学長になるのです。

バットという、カナダから来た、ソーシャルワーカーの宣教師がいました。その人たちと、クラークとミルスは出会ったのです。「出会い」です。そして、日本の子どもを援護しようという気持ちがひとつになった。この出会いが、今日の和泉を、大

う字では表現できませんので、やむを得ず「隣の下に」「人」をつけたんです。「隣人」「隣り人」と新しい日本語を、聖書に基づいて作りました。人がいなかった、村境だけ。

家の建て方を見てください。徳川時代の武家屋敷の名残ですけど、まづ塀を立てるでしょ。そして門を立てる。門をくぐって入ると、玄関にいきます。玄関というのは、「玄妙の関門に入る」という禅の言葉から取ったんです。人を見分ける場所なんです。その家よりも身分の高い人間は玄関に入って、中に招き入れられます。

立派なお客さんがくると、客間に通すんです。茶の間には決して入れません。茶の間というのは家族がいるところ、茶の間じゃなく、客間に通すんです。上級武士の家には、床の間の横に「武者隠し」という小さな部屋がありました。どんな立派なお客さんがきても、家来が刀を持って潜んだんです。いざというときに備えて。信用しないんです、お客さんを。でも、身分の高いお客さんは玄関から入る。

その家よりも身分の低い人は、玄関に入れません。裏の勝手口に回ったんです。人を区別しました。身分によつて。家の中では、家族がみんな助け合います。仲良くします。でも、家から一歩外に出る時はどうしますか。「敷居をまたげば七人の敵」といったんです。家から一歩出ると、七人の敵がいるかもしれないから、注意しなさい。人を見たら泥棒と思えと教えただんです。心を許すな。人は遠いんです。

これを、うち、よそ、よそ者って言うでしょ?血の通っている家族と、血の通っていない他人、よそ者を区別する。学を作ったんです。アメリカの先生と日本の先生の出会いによつて、この大学は生まれました。出会いって何でしょうか。人と人が出会って、その人の存在がお互いに支えられる、その出会いって何でしょうか。

アメリカの視覚障がいの子どもの施設を訪問しました。玄関に入ると正面に子どもたちの写真が掛かっているんです。5、6歳の男の子の写真。そのふたりが肩を抱き合っていて、何かお互いに囁いているんですよ。ひとりが耳を貸している。笑顔のふたりの子どもが可愛い写真でした。障がい児の施設ですから、目の見えない、ふたりの子どもたちの写真です。その下に、字が書いてあった。近寄ってみました。「The blind are also Color blind」って書いてあるんです。分かりませんが、意味。目が見えない視覚障がいの人は赤、黄色が見分けられない……。当然ですよ。目が見えなければ、白か黒か分からない。でも、そう書いてあるんです。

当たり前じゃないかと思ひながら、その字を読みました。なんだろう、これは?目の見えない子どもは色も分からない。なんで、こんなことが書いてあるのか、見てるうちにハッとしました。

「カラー」という字なんです。私にとってカラーというのは、赤、緑、原色を指します。でも、アメリカでは特別の意味があるんです、カラーに。それは、人間の皮膚の色をアメリカでは指します。皮膚の色が白いか黄色いか黒いか。色の黒い人をカラード、色のついた人と、差別をしてきました。

そうすると、写真に書かれた文字の意味は「目の見えない子は、人間の

別したんです。よそ者には心を許してはいけない。隣というのが、大変遠いのです。だから、なかなか出合いが起こらないのです。そういう社会に、私たちは生活をしてきました。でも、ふつと新しい出来事が起こることがあるんです。私は学生の時、23歳、実業家になりたかったんです。だから、経済学を勉強したんです。実業家になるつもりで経済学を勉強したんです。23歳の夏に、静岡県の御殿場という町でアルバイトをしました。アルバイトを終え、炎天下、1時間ほど歩いて、神山復生病院というハンセン病、昔、ライと言いましたけれど、ハンセン病の療養所に行っていたんです。福祉の施設に行ったこともありませんでした。ハンセン病の人をお見舞いしようなんて高尚な気持ちも全く持っていませんでした。でも行ったんです。

そこに昔、岩下壮一というカトリックの神父がいて、彼は立派な神学者、哲学者で私は影響を受けましたので、岩下先生が死んだところをみたいと思ひ立って、病院に行っていたんです。病院に受付があって、40過ぎの女性が座っていました。「岩下先生の部屋をみたい」と言いますと、「案内してあげましょう」と言って、女性が私を連れて歩いてくれました。

この女性が「私はここでは、ボランティアです」と言ったんです。ここにいる皆さんは、ボランティアって知ってますよね。私は不勉強でボランティアという言葉が知らなかったんです。大学生のくせに。知らないんです。「ボランティアって何ですか?」と聞いたんです。そしたらその女性が「私は聖心女子大学で英文学を教えています

す。夏のふたつきの間、この受付に座って手紙の受信配信、電話の交換、あなたのような方が来ると案内をします。一銭ももらっていません。それをボランティアというんです」

はあり、それがボランティアかと思ひました。その人に連れられて病棟に入って治療室というところに行きました。昔のハンセン病というのは病院に入ると臭いがかついです。逃げて帰りたいくらい臭臭でしたが、我慢して付いて行き、治療室の前に立つと後ろから中へ押し込まれました。中に入りますと、向こうに看護婦さん、今、看護師さんですね、がいて、手前に患者さんが座っていました。私は黙って、そのおふたりの横に行きました。患者さんを見ると、耳も鼻もただれ落ちていります。胸を突かれました。看護師さんを見ると「美しい」と思ひました。

穏やかで微笑みを浮かべた看護師さんが、患者さんの左手をとって、包帯を巻いているんです。ライというのは毎日腐って、膿がでますと、毎日包帯を変えたんです。その包帯を、膿のついた包帯を看護師さんは、冬でも水で洗ったんです。

その穏やかな平穏な顔をした看護師さんと、テキパキとしたダイナミックな行為との…。私はその均衡を見ただんでしょうね。美しい、と思ったんです。

そのとき、頭にふつと、聖書の一節が浮かびました。「これらのいと小さき者のひとりになしたるは我になしたるなり」という言葉。マタイの福音書の第25章40節に出てきますけども……。この一番小さい者のひとりにしたのは、私にしてくれたのと同じだと：イエス様の言葉なんです。その言

岩井みどりさん
相模原市立日連保育園
園長(1980年卒業)

私は湖と緑の山々に囲まれた保育園に勤務しております。場所や人が変わっても子どもたちの成長に思い描く姿は変わりません。いつでも可愛い子どもたちに元気や勇気をもたらす一瞬に思いをこめて、日々過ごしてきたいと思っています。

現在子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしいほどの情報があふれています。私達保育士や大人が、今を生きている子どもたちに何が大切かをしっかりと伝えていく役割があると感じています。それは散歩途中に見つけたり、道ばたの小さなありんこだったり、草花の香りだったり。そして、人との温かい関わりの中で気がついていく、目に見えない「心・気持ち」が本当に大切なことなんだよ、と子どもたちとともに共感しあひながら寄り添うこと。大きな目標に向かい、毎日一生懸命に取り組む子どもたちと同じ姿が大事ではないかと思っています。

先日、当時のフォークソング部の仲間と三十年振りに再会しました。楽しい時間を過ごす中、二年間で学んだことが今の力になっている事を確信しました。会話の最後は必ず「健康に感謝と、どんな時にも前向きな気持ちだね」という言葉。これからも子どもたちにとっての、よりよい明るく楽しい保育園作りをチームワークを基に、努力していきたいと思いま

岩井みどりさん
相模原市内は、とても広く、今までに南区、緑区の保育園を沢山経験し、現在山経園に勤務しています。

私は湖と緑の山々に囲まれた保育園に勤務しております。場所や人が変わっても子どもたちの成長に思い描く姿は変わりません。いつでも可愛い子どもたちに元気や勇気をもたらす一瞬に思いをこめて、日々過ごしてきたいと思っています。

現在子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしいほどの情報があふれています。私達保育士や大人が、今を生きている子どもたちに何が大切かをしっかりと伝えていく役割があると感じています。それは散歩途中に見つけたり、道ばたの小さなありんこだったり、草花の香りだったり。そして、人との温かい関わりの中で気がついていく、目に見えない「心・気持ち」が本当に大切なことなんだよ、と子どもたちとともに共感しあひながら寄り添うこと。大きな目標に向かい、毎日一生懸命に取り組む子どもたちと同じ姿が大事ではないかと思っています。

久保小枝子
専任講師

私は幼稚園で保育者として働いてきましたが、今年度から保育内容、保育方法、キリスト教保育等の教科を担当させて頂くことになりました。

実力者でもあり人間性豊かな先生方、様々なことに丁寧に対応して下さる事務の方々、そして将来保育者を目指して励んでおられる学生さん達と共に過ごせる毎日に、今、大きな喜びを感じています。

学生さんたちが和泉での学びを深めながら、子どもの思いを真摯に受け止め、愛し、適切に援助できる保育者に育って欲しいという願いをもちながら、私に出来ることを精一杯提供し、共に学んでいきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

久保小枝子
専任講師

私は幼稚園で保育者として働いてきましたが、今年度から保育内容、保育方法、キリスト教保育等の教科を担当させて頂くことになりました。

実力者でもあり人間性豊かな先生方、様々なことに丁寧に対応して下さる事務の方々、そして将来保育者を目指して励んでおられる学生さん達と共に過ごせる毎日に、今、大きな喜びを感じています。

学生さんたちが和泉での学びを深めながら、子どもの思いを真摯に受け止め、愛し、適切に援助できる保育者に育って欲しいという願いをもちながら、私に出来ることを精一杯提供し、共に学んでいきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

田中 理絵
キャリアデザインセンター・保育力支援者

今年度より、キャリアデザインセンターの保育力支援者として勤務させて頂いております。

私は6年前に和泉短期大学を卒業し、幼稚園にて和泉での学びを基に勤めておりました。再び、このようなかたちで母校に携わることができ、大変嬉しく思っております。

幼稚園教諭として過ごした経験を活かし、学生の皆さんの不安や悩みなどを少しでも取り除けるようサポートして参ります。より多くの学生さんが、自信と希望を持って実習先や就職先で活躍できることを期待しています。どうぞよろしくお願致します。

田中 理絵
キャリアデザインセンター・保育力支援者

今年度より、キャリアデザインセンターの保育力支援者として勤務させて頂いております。

私は6年前に和泉短期大学を卒業し、幼稚園にて和泉での学びを基に勤めておりました。再び、このようなかたちで母校に携わることができ、大変嬉しく思っております。

幼稚園教諭として過ごした経験を活かし、学生の皆さんの不安や悩みなどを少しでも取り除けるようサポートして参ります。より多くの学生さんが、自信と希望を持って実習先や就職先で活躍できることを期待しています。どうぞよろしくお願致します。

人事
(2016年4月1日付)

■就任
伊藤 忠彦 特任教授
西石 一郎 特任教授
久保 小枝子 専任講師
八代 陽子 専任講師
久保田美沙子 助教(契約)
大嶽 陽子 広報渉外ユニット

■昇任
片山 知子 教授
天下 聖治 教授

■故 齋藤 茂氏
(山本正司氏 専攻科専任講師 御岳父 2016年5月22日)
主による平安をお祈りいたします。

人事
(2016年4月1日付)

■就任
伊藤 忠彦 特任教授
西石 一郎 特任教授
久保 小枝子 専任講師
八代 陽子 専任講師
久保田美沙子 助教(契約)
大嶽 陽子 広報渉外ユニット

■昇任
片山 知子 教授
天下 聖治 教授

■故 齋藤 茂氏
(山本正司氏 専攻科専任講師 御岳父 2016年5月22日)
主による平安をお祈りいたします。

西田恵一郎
チャプレン・准教授

チャプレン(病院付牧師・学校付牧師・従軍牧師など)。「神学と心理学のバイリンガル」という人います。この学びを終えた私の最初の働き場は病院と老人ホームでした。教会を経て、キリスト教学校で21年。そして、今年から和泉短期大学に。子どもたちを支える使命をもちた青年たちを支える、これが私の役割かと思っています。18歳の頃にもった「若い人たちが共に」の私の思いは今も良しとして下さっているなら、神はまた学生たちの思いを大切に、彼らを育て、遣わそうとされたいはずがありません。そんな彼らと共に歩んでいきたいと思えます。

西田恵一郎
チャプレン・准教授

チャプレン(病院付牧師・学校付牧師・従軍牧師など)。「神学と心理学のバイリンガル」という人います。この学びを終えた私の最初の働き場は病院と老人ホームでした。教会を経て、キリスト教学校で21年。そして、今年から和泉短期大学に。子どもたちを支える使命をもちた青年たちを支える、これが私の役割かと思っています。18歳の頃にもった「若い人たちが共に」の私の思いは今も良しとして下さっているなら、神はまた学生たちの思いを大切に、彼らを育て、遣わそうとされたいはずがありません。そんな彼らと共に歩んでいきたいと思えます。

八代 陽子
専任講師

今年度より、和泉短期大学の専任講師として働かせていただくことになりました。私は昨年度、和泉で非常勤をさせて頂いていました。明るくて、とても素直な学生の姿が印象的でした。このような学生たちと共に学びあえることをとても嬉しく思っております。

私は看護師経験を経て、保育の世界に入りました。東京家政大学大学院時代、愛育養護学校で出会った子どもたちから、保育の奥深さを知り、ますます保育の世界に惹き込まれていきました。保育の学びは人間そのものの学びだと感じております。学生も教員も学びあいながら共に成長していけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願致します。

八代 陽子
専任講師

今年度より、和泉短期大学の専任講師として働かせていただくことになりました。私は昨年度、和泉で非常勤をさせて頂いていました。明るくて、とても素直な学生の姿が印象的でした。このような学生たちと共に学びあえることをとても嬉しく思っております。

私は看護師経験を経て、保育の世界に入りました。東京家政大学大学院時代、愛育養護学校で出会った子どもたちから、保育の奥深さを知り、ますます保育の世界に惹き込まれていきました。保育の学びは人間そのものの学びだと感じております。学生も教員も学びあいながら共に成長していけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願致します。

学校法人役員等改選

次のとおり、改選されました

■理事長
深町 正信
2016年6月13日〜2020年6月12日

■理事
宮本 和武
2016年6月14日付
長山 篤子
2016年6月15日付

■監事(再任を除く)
新任 恭平
2016年5月31日付
小山田小八郎
2016年6月1日付

■評議員
長尾 大
小山田小八郎
芳野 ハンナ
鈴木 敏彦
2016年5月31日付

就任(再任を除く)
原田 康子
松岡 陽彦
遠藤 陽子
西田 恵一郎
2016年6月1日付

TOPICS

高校教員進学説明会

2016年5月25日(水)、26日(木)の2日間、本学の「ラーニングセンター will」にて「2016年度高校教員進学説明会」を開催いたしました。本学の概要説明、入試説明の後、個別相談、学内見学をしていただき、本学の教育活動についての理解を深めていただきました。

第8回保育・福祉科目高校教員研究会

2016年6月8日(水)、第8回保育・福祉科目高校教員研究会が開催され、東京都、神奈川県の高校から保育福祉関係科目担当の先生方に参加いただきました。第一部では、河合高鋭専任講師による「障がいのある子どもの保育について」、鈴木敏彦教授による「保育・福祉の最新の動向・法改正について」という2つのテーマにてトークセッションが行われました。第二部では意見交換・情報交換が活発に行われ、本学の専門性と特色を生かした研究会となりました。

第1回和泉プレカレッジ

2016年6月11日(土)相模原市内の保育者を目指す高校3年生44名を対象とした公開セミナー「和泉プレカレッジ」が開催され、千葉仁非常勤講師による「ハンドベルについて 天使の響ハンドベルを奏しよう」と、須藤みぎわ非常勤講師による「身体をつかった表現遊び」の2つのミニ講座を受講していただきました。

避難・防災訓練

6月20日(月)、公益財団法人 相模原市まち・みどり公社との共催により、淵野辺公園中央広場で避難・防災訓練を行いました。近隣自治会である青葉二丁目自治会会員の方々、および本学の協力会社であるシダックス、東海ビルメンテナンス、相模設備工業の方々にも参加していただきました。

就職懇談会・就職説明会

2016年5月30日(月)のキャリアデザインⅡの授業にて、「卒業生を招いての就職懇談会」を実施しました。公立保育所、私立保育所、私立幼稚園、児童養護施設に勤務している卒業生を招き、「仕事のやりがい」について講演していただきました。また、横浜市私立保育園園長会、横浜市子ども青少年局子育て支援部、横浜市幼稚園協会の先生方にお越しいただき、保育所・幼稚園の就職説明会を実施しました。

第51回全国私立短期大学体育大会 第6回 結団・ユニフォーム贈呈式

7月20日(水)、和泉クラークホールにて全国私立短期大学体育大会および結団・ユニフォーム贈呈式が開催されました。今年度は、バスケットボール男女各1チーム、バレーボール女子1チーム、バドミントン男子(単)、バドミントン女子(団体・複)、ソフトテニス女子(2名)が出場します。

後援会第9回総会

2016年5月28日(土)和泉短期大学後援会第9回総会が開催されました。木村治後援会会長の挨拶に始まり、来賓挨拶、2015年度事業報告および決算、2016年度事業計画および予算を審議し、承認されました。また、役員改選が行われ、雑賀えり子氏が会長に選任されました。総会後には、武石宣子特任教授による記念講演「和泉と私、そしてリトミック」でリトミックの理論と実践が行われました。

第62回相模原市民バスケットボール選手権大会

女子バスケットボールサークルが、第62回相模原市民バスケットボール選手権大会一般女子の部において、第3位になりました。

2015年度のベストオブスタッフ賞(第5回)

文部科学省管轄の平成27年度「私立大学等改革総合支援事業」及び「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」に交付申請し、採択されました。文部科学省補助金作業部会の職員代表として携わり、外部資金の獲得に貢献しました。※文部科学省補助金作業部会職員チームwillメンバー 学術情報ユニットリーダー 深町和哉、経理・施設ユニット主任 木村文紀、教育学習支援ユニット 穴井康夫

ラーニングセンターwill

「ラーニングセンター will」が多くの学生に活用されています。授業の空き時間にて、設備されたPCを活用しグループの仲間と課題に取り組むなど、学生の学びがより活発になっています。



— 資金収支計算書(概要) —

Table with columns: 科目, 2015年度決算額, 2016年度予算額. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with columns: 科目, 2015年度決算額, 2015年度予算額. Details 支出の部 items.

— 2015年度決算貸借対照表(概要)〈2016年3月31日〉 —

Table with columns: 科目, 2015年度末, 2014年度末, 増減. Shows 資産の部 and 負債の部.

— 事業活動収支計算書(概要) —

Table with columns: 科目, 2015年度決算額, 2016年度予算額. Details 事業活動収支 items.

Table with columns: 科目, 2015年度末, 2014年度末, 増減. Shows 負債の部 and 純資産の部.

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 1,792,932千円
2. 翌会計年度以降の基本金への組入額 0千円

— 2015年度決算書概要説明 —

健全な財政状態

2016年5月21日(土)開催の理事会、評議員会において2015年度決算が承認されました。
2015年度決算概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、2013(平成25)年度に学校法人会計基準の一部が改正され、2015年度の会計年度に係る会計処理及び計算書類の作成から適用されることになりました。
資金収支計算書は、2015年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収入計は771,118千円です。これに対し、資金支出計は、739,876千円です。
2015年度末支払資金(現金預金)は2,069,085千円で、前年度末支払資金(現金預金)に比べ31,242千円増加(資金収支差額)しました。
事業活動収支計算書は、当該年度の学校法人の収入及び支出の均衡状況を明らかにし、学校法人が健全であるかを示す計算書です。3つの収支区分(①教育活動収支、②教育活動外収支、③特別収支)から構成されています。事業活動収入計は825,749千円、事業活動支出は、719,390千円です。
基本金組入前当年度収支差額(事業活動収支差額)106,359千円の約87%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本学の運営に甚大な影響を及ぼすことになります。教育活動収入計は、学校法人の純資産を増加させる収入です。事業活動収支差額から第3号基本金615千円の基本金組入れを行ったことにより、当年度収支差額は、105,744千円でした。
教育活動支出の大半を占める人件費は、415,229千円で経常支出に占める人件費比率は、51.1%です。教育研究経費は、179,426千円です。教育研究活動に要する経費全般について効率的な支出に努めました。管理経費は、101,982千円です。法人業務及び管理部門の維持管理運営費の効率的、効果的な支出を図り、経費削減に努めました。
当年度収支差額は、105,744千円収入超過となりました。

貸借対照表は、2015年度末における当法人の資産の部、負債の部、純資産の部の3つの要素から構成され、学校法人の財政状態を明らかにする計算書です。有形固定資産の減価償却対象資産(建物、構築物、機器備品等)については、取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。資産の部合計は、8,646,550千円です。退職給付引当金と前受金が大部分を占める負債の部合計は、432,330千円です。基本金と繰越収支差額で構成されている純資産の部合計は、8,214,220千円です。負債の部合計と純資産の部合計は、8,646,550千円です。

— 2016年度予算書概要説明 —

2015年度に学校法人会計基準改正が施行され、計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書を作成することになります。
資金収支予算書の資金収入合計は、879,336千円、資金支出合計は878,995千円です。
資金収支差額は、341千円収入超過になる見込みです。
事業活動収支予算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。事業活動収入合計は730,105千円です。基本金組入前当年度収支差額は49,381千円支出超過です。基本金組入額は、第3号基本金として、基金による運用果実(利息)から奨学事業経費を控除した残額607千円組み入れを行い、第1号基本金組入額は、8,294千円になります。
事業活動支出合計は予備費を含め779,486千円です。2016年度繰越収支差額は、58,282千円支出超過になり、事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)は、49,381千円の支出超過になる見込みです。

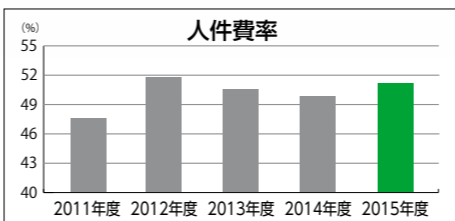
今後の和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少(2018年度問題)、保育者養成校の増加、入学定員の厳格化等、本学を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しています。また、2015年度は私立大学の約43%(250校)、短期大学の61%(192校)が入学定員を満たしていない状況です。
本学は、経常収入の約87%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題です。2015年度は、外部資金等の導入による経営戦略として、文部科学省の競争的資源(教育活性化施設整備事業)を獲得し、教育の質の向上を図るため、ラーニングセンターwill(自学自習の学びの場)を開設しました。相模原市に移転後40年が経過し、校舎等の修繕工事計画及び教育研究活動の維持向上を図りながら、経費の削減をはじめとした経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図って参ります。
深町正信理事長による2016年度「学校法人和泉短期大学の基本構想」は、4つ柱「1. 法人創立60周年記念事業、2. 1号館外壁塗装、鉄部塗装改修工事、3. 学生・教職員安心確認システム導入、4. 時間制改正に伴う教育環境の整備」をもとに事業展開を致します。

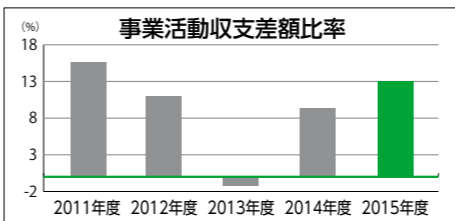
学校法人和泉短期大学は2016年5月創立60周年を迎えました。
年々厳しさを増している状況下において、本学の教育環境を整備充実していくには、将来にわたり支出要因が多いため、2016年度は60周年記念事業募金活動を行い、さらなる発展を目指して今後も「出るを制して、入るを計る」ことを原則として業務改善に取り組み、一層の合理的・効率的な支出を行い、資金の有効活用に努めます。
建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となって努力して参ります。

事務局長 土橋 正文

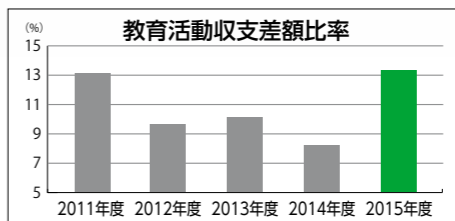
— 事業活動収支計算書の財務比率推移グラフと説明 —



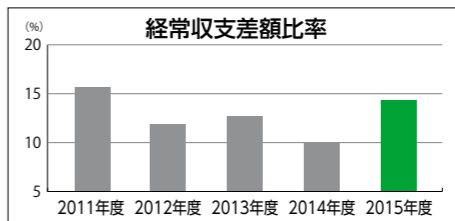
経常収入に対する人件費の割合。50%以内が目安です。人件費は、経常支出の中でも最大の比重を占める支出です。人件費が膨らんでいくと収支状況の悪化を招きやすい。学生数の減少は比率の上昇を意味するため、人件費削減対策は最重要課題です。



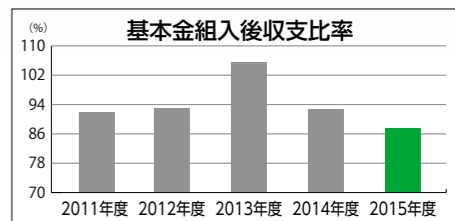
従来の繰越収支差額比率。学校法人の純利益を表わす、重要な財務比率。比率がプラスで大きいほど自己資金が充実している。プラス分から将来の施設設備の取替更新の余裕を示す。マイナスが何年も継続して行くと経営は窮乏し、資金が枯渇します。10%以上を経営安定の指標にしています。2013年度は不動産処分差額発生により、マイナスになりました。2015年度は約13%になりました。



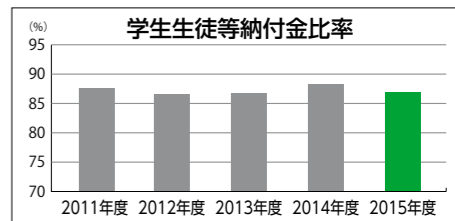
本業である教育活動の収支バランスを表す比率。学校本来の教育活動による収支差額を表わして、本業である教育活動収入の範囲内でどの程度余裕を持って運営できているかを把握することができます。



経常的な収支バランスを表す比率。この比率は、臨時的な収支を考慮しない、通常の事業活動による収支バランスを示す比率のため、支出超過の場合は財政が逼迫していることを表しています。支出超過分が、減価償却額の範囲内であれば、資金ショートを起こすことはありません。経営の健全性を表す指標です。



事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率。90%以上になると経営が困難になると言われています。臨時的な固定資産の取得等による基本金組入が著しく大きい年度において、一時的に上昇する場合もある。2013年度は、5号館売却による不動産処分差額により100%を超過しました。

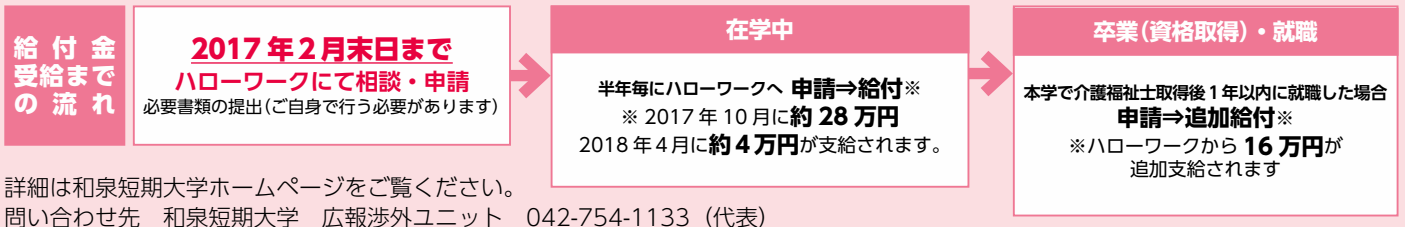


経常収入に占める学生生徒等納付金収入の割合。経常収入に占める学生生徒等納付金への依存度が高いため、今後は収入の多様化が課題です。

専門実践教育訓練給付金（専攻科 介護福祉専攻）

<教育訓練給付制度とは？>

- ・厚生労働省による、働く方のスキルアップを支援し、雇用の安定、再就職の促進を図ることを目的とした制度です。
- ・一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）または一般被保険者であった方（離職者）が、専攻科介護福祉専攻に入学し介護福祉士資格を取得した場合、本人が卒業までに実際に支払った学費（入学金、授業料）の40%（上限年48万円）が給付されます。
- ・支給対象者は、入学までに通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有している方です。



2016年度 保育士資格取得特例講座（幼稚園教諭免許状を有する方の保育士資格取得特例に関する科目）

新たに創設された「幼保連携型認定子ども園」への円滑な移行を進めるため、改正認定子ども園法の施行後5年間は、「幼稚園教諭免許状」または「保育士資格」のいずれかを有すれば、両方の免許・資格を有する「保育教諭」として勤務できる経過措置が設けられています。

和泉短期大学は、相模女子大学と共同で本講座を開講いたし

ます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

※なお、両大学共催による講座は本年度で終了となります。本年度のみ受講の方は、保育士試験科目全科目免除にはなりませんのでご注意ください。

問い合わせ先

和泉短期大学 教育・学習支援ユニット 042-754-1133 (代表)

第50回 いずみ祭、みんなで行こう！「いずみのテーマパーク」

10月29日・30日に第50回「いずみ祭」を開催します。本年度のテーマは、みんなで行こう！「いずみのテーマパーク」です。各グループが一致団結して歌い上げる見事な合唱と歌に合わせたパフォーマンスのサウンドコンテスト、子どもから大人まで楽しめるさまざまな出し物や模擬店、高校生向けの入試直前個別相談会など、イベントが盛りだくさんです。熱気と感動に包まれるいずみ祭にぜひお越しください。



同窓会いずみ第7回定期総会

■10月29日(土)11時～12時(受付10時30分) 於：303教室

同窓会主催 いずみのひろっぱ

■10月29日(土)13時～16時、30日(日)11時～16時 於：303教室

..... スクールバス発車時刻(両日) 相模大野駅・淵野辺駅両駅共 10時発

夏期休業中の改修工事のお知らせ

7月10日から9月3日まで下記の通り改修工事を実施します。ご迷惑お掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

- | | |
|---|---------------------------------|
| ① 1号館 外壁改修工事 7月10日(日)～9月3日(土) | ⑥ 1号館 排水管改修工事 8月18日(木)～8月25日(木) |
| ② 1.2.3号館外部 鉄部及び木部塗装工事 8月3日(水)～12日(金) | ⑦ 1号館中庭 樹木伐採根及び植栽 7月上旬及び9月上旬 |
| ③ 2号館 共用部ソフト巾木改修工事 8月11日(木)～18日(木) | ⑧ 4号館 エレベーターの耐震等工事 8月中旬2日間 |
| ④ 1.3.4号館 特定天井の耐震等調査 8月8日(月)～12日(金) | ⑨ 4号館 ウッドデッキ及びベンチ塗装 8月中旬3日間 |
| ⑤ 1号館 ラーニングセンター入口ドア改修工事
8月8日(月)～8月12日(金)、8月18日(木)～23日(火) | |